

なら歴史芸術文化村

幼児向けアートプログラム

そざい あそび まなび 展

vol.3



幼児向けアートプログラムでは、「そざいきち」「てでかんがえる」の2つの事業を通して子どもたちの姿を追いかけてきました。作品や写真を通して1年間の子どもの様子を展示するとともに、職員が日々の活動をまとめ、読み解いたドキュメンテーションの展示もおこないます。またミニ体験スペースを設けますので、是非お子さまと一緒にどうぞ。

2025年 **3月25日** (火) - **4月13日** (日) 10:00 ~ 16:30

月曜休館・入場料無料

会場：なら歴史芸術文化村 芸術文化体験棟 1階 体験学習室

主催：なら歴史芸術文化村

そざい
あそび
まなび
vol.3

そざい あそび まなび vol.3

なら歴史芸術文化村 幼児向けアートプログラム



※奈良県版就学前教育プログラム
「はばたくなら」にもとづいて実施します。

2025年3月25日^② - 4月13日^③
10:00~16:30 月曜休館

奈良県では、心身ともに著しく発達する乳幼児期に着目し、子ども一人ひとりの可能性を最大限に上げ、「学ぶ力」「生きる力」の土台となる「自己肯定感・自尊感情」「他者への寛大なこころ」「健やかな身体」をはぐくむことを目的としています。この考えに基づき、なら歴史芸術文化村では、イタリアのレッジョ・エミリア・アプローチを参考に、「創造」と「共同（協同）」をはぐくみ、一人ひとりの発想と個性を尊重するプログラムを行っています。作品の完成を一番の目的とせず、子どもが何をしたいのか、どんな発見があるのか、創る過程を大切に、「生きる力」の土台づくりにつなげます。

② 0-6歳の未就学児を対象に、自然の素材や身近なものなどを使用し、素材との出会い、あそびを楽しみます。



就学前の5-6歳の子どもたちが、奈良の文化や素材に触れ、みんなで相談し、考えながら探究や創作活動を行います。



そざいきち「ぎゅっとするにゅっとでる」

「ぎゅっ」と力をくわえると形が変わる。「ぎゅっ」したり「にゅっ」したりするとどんな形が見えるかな？たくさん試して好きな「ぎゅっ」と「にゅっ」を探しました。



てでかかんがえる vol.5《墨》

奈良の伝統産業である墨を素材に選びました。6日間、素材と向き合い五感で感じながら「墨でどんなことができるのか」に取り組みました。



そざいきち「おとをみつけるドンカンパー」

耳を澄ますと聞こえる音はどんな音？葉っぱを踏んだ時はどんな音？「嬉しい気持ち」はどんな音？音はどんな形かな？音に気づいたり、音をつくったりして、音を見つけました。



教育関係者向け 幼児向けアートプログラム 実践事例紹介

県内での普及を目指し、実践事例紹介に取組んでいます。今年度はシンポジウム「未就学児の表現」を開催しました。2025年度から幼児教育関係者対象のプログラム見学・意見交流会を開催します。詳細はHPをご覧ください。

なら歴史芸術文化村

〒632-0032 奈良県天理市杣之内町 437-3

TEL : 0743-86-4420(代表)

<https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/>

@nara_bunkamura

@narabunkamura



電車・バス
天理駅より直行デマンドシャトル(約10分)



詳細は専用サイトをご覧ください。
050-2018-0107



自動車
名阪国道天理I.C.より南へ約3km



自転車
サイクルステーションにて更衣室・シャワールームが利用可能

